



9月2日（火）  
募集開始



届け！もやもや

ジェンダーバイアス解消を本気で考える共感の輪がさらに拡大

9/9の定例会見で知事の今年の1句を発表します

県では、皆さんが日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を、川柳の形で募集し、広く発信する「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」を実施します。

五・七・五という短い言葉のメッセージを募り、これを多くの方に届けることで、同じ思いを持つ方の共感を得るとともに、それが思い込みや決めつけだと気づいていなかった方々の気づきにつなげます。

3回目となる今年は、県内企業からの協賛・協力をさらに拡大して、「女だから…」「男だから…」「男らしく…」「女らしく…」といった、性別による固定観念の解消の気運を高めていくことを、ここ広島から目指します。

## コンテスト概要

詳細は[こちら](#)から



- (1) 募集内容： 「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを、五・七・五の形の川柳で募集
- (2) 募集期間： 令和7年9月2日（火）～令和7年10月13日（月・祝）
- (3) 審査方法： 一次審査を経て、優秀作品を決める二次審査と、特別協賛企業による企業賞審査、共感作品を決める県民投票をそれぞれ実施

### ① 一次審査

男女共同参画関係団体や大学生等により入賞 30 作品を選考

### ② 二次審査（優秀作品の選考）

一次審査を通過した作品を対象に、審査員の合議により次の各賞を決定

#### 【優秀作品】

- 最優秀賞 1点（商品券5万円分）
- 優秀賞 2点（商品券2万円分）
- 審査員賞 1点（商品券1万円分）

## 〔審査員〕

- かみづる ひさひこ  
・上水流久彦（審査員長）：県立広島大学教授、副学長（地域基盤研究機構）、広島県男女共同参画審議会委員、専門は文化人類学
- なかしま なおき  
・中島 尚樹：タレント、コメンテーター、妻の井上恵津子とYouTubeチャンネル「中島家チャンネル」配信中
- やまだ みゆき  
・山田 幸：日本放送作家協会中国・四国支部監事、日本脚本家連盟中国・四国支部監事、広島大学大学院特任助教、専門は民法法学、コミュニケーション
- きのした あさこ  
・木下 麻子：株式会社ひろぎんホールディングス執行役員サステナビリティ統括部長、広島県総合計画審議会委員、広島県男女共同参画審議会委員

## ③ 企業賞審査

一次審査を通過した作品を対象に、本取組に賛同する特別協賛企業から企業賞の提供を受け、各企業の審査により決定

併せて、特設サイトにて特別協賛企業の「協賛に寄せる思い」を紹介

### 【企業賞】（※）今年度拡大（3社）

|                    |                      |             |
|--------------------|----------------------|-------------|
| ● 中国電力株式会社（※）      | 「一日も。百年も。」賞          | 1点（賞品1万円相当） |
| ● 株式会社ひろぎんホールディングス | 「未来を、ひろげる。」賞         | 1点（賞品1万円相当） |
| ● 広島ガス株式会社（※）      | 「このまち思い」賞            | 1点（賞品1万円相当） |
| ● 広島電鉄株式会社         | 「広島のワクワク」賞           | 1点（賞品1万円相当） |
| ● 株式会社フジ           | 「お客さまとのつながり」賞        | 1点（賞品1万円相当） |
| ● マツダ株式会社（※）       | 「前向きに今日を生きる人の輪を広げる」賞 | 1点（賞品1万円相当） |

## ④ 県民投票（共感作品の選考）

一次審査を通過した入賞30作品を対象に県民投票により1位の作品を決定

- 県民共感度No.1賞 1点（賞品5千円相当）※他の賞との重複可

※ その他の入賞作品へは商品券2千円を贈呈

## （4）結果発表・授賞式（予定）

- ・日時：12月16日（火）  
・会場：エソール広島（広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階）

## （5）協賛企業

### 【特別協賛企業】



### 【協賛企業】



## 背景

日本のジェンダー格差（\*参考 1）は、148 カ国中 118 位と低く、また、本県の実況も、全国的な比較において、ジェンダー平等が進んでいるとは言えない分野もあります。（\*参考 2）

この状況の背景には、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」（\*参考 3-1）に代表される、「男だから～、女だから～」という固定的な性別役割分担意識が存在していると考えられており、県では、こうした固定観念の解消を目的に、令和 5 年度から本事業を開始しました。

性別による固定的な役割分担の意識に「影響を与えた存在」について、67.7%の方が「他者から影響を受けている」と回答（\*参考 3-3）しており、職場や家庭といった個人を取り巻く周囲の方にも気づいてもらう必要があることから、昨年度は、コンテストの趣旨に賛同いただいた県内企業各社（11 社）からの協賛・協力も得て実施したところ、3,700 句を超える作品が寄せられました。

今年度は、さらに多くの県内企業各社（17 社）からの協賛・協力を得て、より多くの県民の気づき・共感につなげることを目指します。

## 【参考】ジェンダーギャップの現状について

### 1 ジェンダーギャップ指数 - 日本

- 世界各国の男女格差を数値化したジェンダー・ギャップ指数（世界経済フォーラム）の 2025 年の日本の総合順位は、148 か国中 118 位。
- 日本は「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」「経済」の値が低い。

### 2 都道府県版ジェンダーギャップ指数 - 広島県

#### ～2025 年都道府県版ジェンダーギャップ指数～

●政治分野 全国 19 位

●教育分野 全国 4 位

●行政分野 全国 15 位

●経済分野 **全国 28 位**

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| 就業率の男女差                   | <b>30位</b> |
| フルタイムの仕事に従事する割合の男女比       | <b>24位</b> |
| フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差     | 17位        |
| 共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差 | <b>35位</b> |
| 企業や法人の役員・管理職の男女比          | 23位        |
| 社長数の男女比                   | 10位        |

（※上智大学教授などの「地域からジェンダー平等研究会」が試算したデータ。政治、経済、教育、行政の 4 分野で示す。）

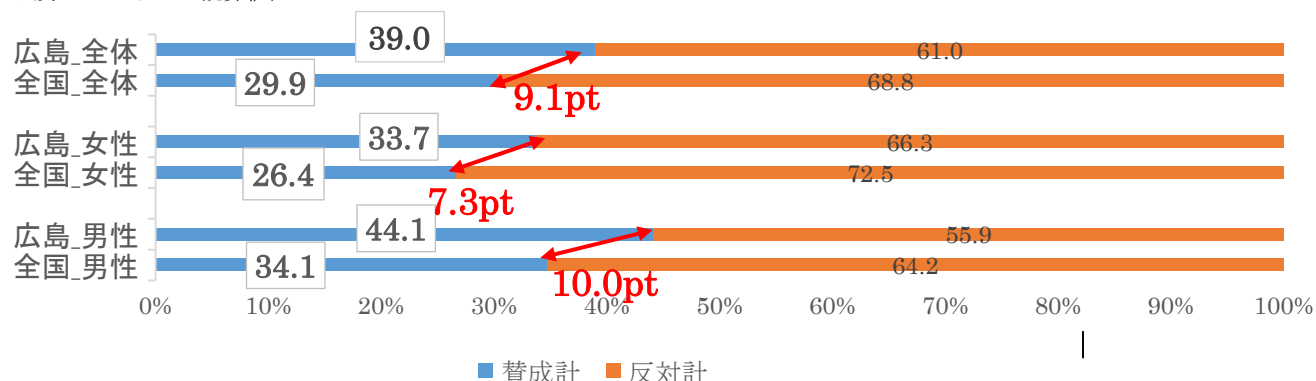
### 3 広島県の性別による固定的な役割分担意識の現状

当課が実施した「令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査」の結果  
については[こちら](#)から



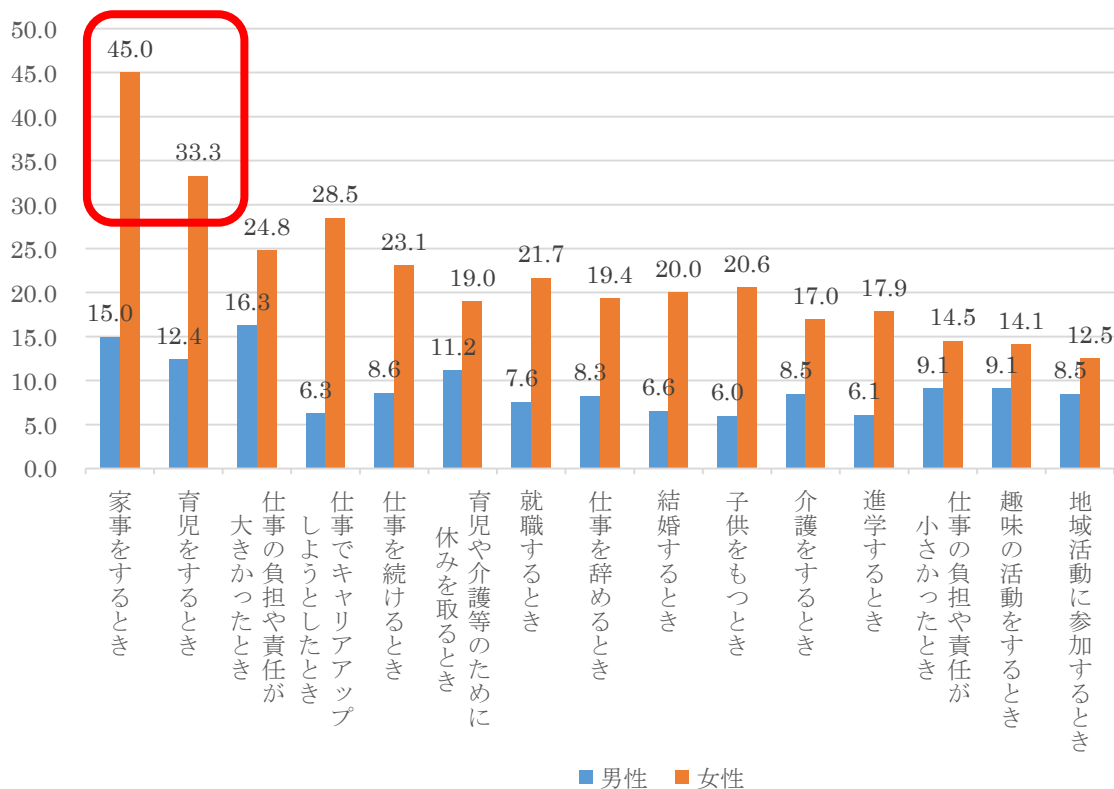
#### 【3-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への意見】

「賛成」「どちらかという賛成」と答えた人の合計は、広島県全体では39.0%となっており、全国と比較して9.1pt 賛成派の率が高く、また、男女別で比較した場合でも同様に広島県の方が賛成派の率が高い。（※広島県は「令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査」より、全国は「男女共同参画社会に関する世論調査（令和6年9月調査）」より。なお、全国の数値については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻しているため概算値）



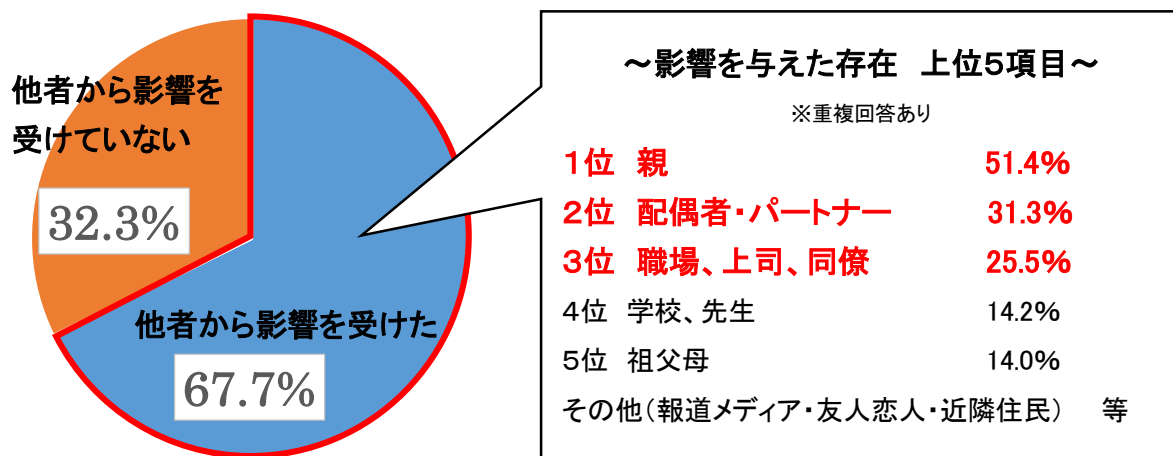
#### 【3-2 性別による固定的な役割分担意識に影響された場面（マイナスに影響）】

性別による固定的な役割分担意識に影響された場面については、特に女性において、「家事をするとき」「育児をするとき」などの項目で、マイナスに影響された割合が高くなっている。（※広島県：「令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査」より）



### 【3-3 性別による固定的な役割分担の意識について、影響を与えた存在】

67.7%の方が他者から影響を受けていると回答しており、影響を与えた存在としては「親」「配偶者・パートナー」「職場、上司、同僚」の順で割合が高い。（※広島県「令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査」より）



### 【3-4 「ジェンダー」という言葉の理解度と、性別による固定的な役割分担意識】

「ジェンダー」という言葉を理解している（言葉は知っていて内容も理解している）人は、そうでない人に比べて、「性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できている」割合が高い。（※広島県「令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査」より）

